



ジェンダー平等プロジェクトの取り組みについて

現在、全国的に少子高齢化・人口減少が進展し、社会が多様化・複雑化していくなか、今後より一層、人口の約半数を占める女性の社会参画・活躍促進が強く求められているところです。

しかしながら、日本の男女格差を測るジェンダーギャップ指数は、世界156か国中120位となっており、ジェンダー平等に向けた取り組みの推進が喫緊の課題となっています。

1 「ジェンダー平等プロジェクトチーム」の設置について

本市では、SDGsに掲げる「あらゆる人々が活躍する社会の実現」、及び、年齢・性別・国籍・障害などにかかわらず「いつまでもすべてのひとにやさしいまちづくり」SDGs未来安心都市・明石の実現に向けて取り組んでいます。

その一環として、SDGsの目標No.5「ジェンダー平等の実現」を目指すため、庁内横断的な施策検討チームを立ち上げました。

- | | |
|----------|--|
| (1) 体制 | プロジェクトチーム方式（事務従事） |
| (2) 名称 | ジェンダー平等プロジェクトチーム |
| (3) 設置期間 | 令和3年8月2日～令和4年3月31日 |
| (4) 構成員 | 庁内公募により <u>14名</u> （男女各7名）を選任しました。
※ <u>教育委員会の職員2名もメンバーになっています。</u> |

2 検討テーマについて

プロジェクトチームにおいて、ジェンダー平等に関する課題・現状分析・ありたい姿を共有し、そこで出された意見を次の5つのテーマに分類し施策を検討しています。

- (1) 意思決定場面におけるジェンダー平等施策（パリテ・クオータ制等）
- (2) 職場におけるジェンダー平等施策（明石市「育休100%宣言」等）
- (3) 家庭・社会におけるジェンダー平等施策
- (4) 防災におけるジェンダー平等施策
- (5) 教育におけるジェンダー平等施策

※ジェンダーにかかるアンコンシャスバイアスや多様な性について教育現場から生徒・教員・保護者に働きかけを行います。

例) ジェンダー啓発モデル校の選定など

※上記について、すぐに取り組む施策、中期的・長期的に取り組む施策を整理し、できることから順次取り組みを進めます。